

試験問題

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和6年9月14日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、試験問題は公開していません。

解答または解答例

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻
博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和6年9月14日（土）実施

システム工学研究科では、入学試験の公平性の維持と効率化を目的として、あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回の入学試験を実施することがあるため、解答または解答例を公開していません。

出題の意図

令和7年度 大学院 システム工学研究科 システム工学専攻 博士前期課程 入学選考（9月期）

コース：建築コース 科目名 [建築計画]

令和6年9月14日（土）実施

建築計画に関する基礎的な知識の確認のため、以下のことについて問うている。

- 問1. 戦後、長年にわたって固定概念化している住宅の間取り手法のnLDKについて、図解しながら説明できる能力を確認する。
- 問2. 建物の長寿命化のために、時代の変化に合わせて内装や設備を更新しながら、より長期にわたって活用することができようように、建物の構造部と非構造部を分離した工法。このシステムについて、図解しながら説明できる能力を確認する。
- 問3. 採光や通風が犠牲になりがちな集合住宅において、これまで考案されてきたアクセス方式について、図解しながらその利点や欠点を説明できる能力を確認する。